



“わたしたちの社協の一押し事業 2017”



サ ロ ン 活 動

～子育てサロン、ふれあいいきいきサロン、障がい者サロン～

／大網白里市社会福祉協議会

事業名：サロン活動
○具体的な内容・中身 ①子育てサロン ②ふれあいいきいきサロン ③障がい者サロン
○その事業を始めたきっかけ ①子育てサロンは、平成17年度より子育て中のお母さんのリフレッシュできる場所として開設した。 ②ふれあいいきいきサロンは、ふれあいのまちづくり事業の一環として、平成13年度からふれあいいきいきサロンの推進を始めた。 ③障がい者サロンは、当事者同士の仲間づくりの場所として平成25年度から始めた。
○事業の特長、特に強調したい点 ①子育てサロンは、市内4カ所の公共施設を利用し、4つのサロンを開設している。 サロンごとに特色があり、お母さん達が項目によって自由に参加できる。 ②ふれあいいきいきサロンは、現在、市内に47か所のサロンがあり、5支部で推進している。 ③障がい者サロンは、障がいの種別に関わらず年2回開催している。
○事業の財源と事業費の内訳、業務量（事務量、負担感・協力者の人数等） ①子育てサロン 財源：共同募金配分金及び参加費 人材：民生委員児童委員及び登録ボランティアの協力があり、良好に運営されている。 ②ふれあいいきいきサロン 財源：共同募金配分金及び参加者からの会費 人材：ボランティア及び支部の理事 ③障がい者サロン 財源：共同募金配分金及び参加費 人材：ボランティア連絡協議会からボランティアの協力がある。
○事業の効果、住民・関係者からの評価 ①子育てサロン： 子育て支援センターなどの開設により、子育て中のお母さんが参加できる場所が多くなり、市全体で子育て支援に取り組んでいるなか、本会の子育てサロンは、参加費がかかるが子育ての先輩である女性のボランティアさんがいてくれるので、ちょっとした育児の相談やボランティアさんがお子さんをあやしてくれ、少しの時間だがお母さん達がリフレッシュできていると参加者からの声がある。地域でのふれあいの場となっている。

②ふれあいいきいきサロン：

第4次地域福祉活動計画の中で、毎年各地区に1か所ずつ増やすことを目標として掲げており、着実に増えている。月1回の開催を楽しみにしているという参加者の声が聞かれる。

③障がい者サロン：

障がいを持っている方の社会参加の場所として、また、仲間づくりの場になっている。

○今後、同じような活動が始めるに当たってのヒント・アドバイス

- ・人員等の確保のうえ事業を開始する。

この事業に関する問合せ先：大網白里市社会福祉協議会（担当：地域支援班） ☎0475-72-1995

（平成29年3月29日作成）